

平成30年(2018年)5月25日

於. 水道部第2別館 研修室

議事録(大要)

【出席者】 北詰委員、近藤委員、原委員、亀山委員、栢委員、久保委員、名越委員、橋本委員
濱田委員、藤木委員、吉田委員

【欠席者】 松田委員、木田委員、芝委員、田口委員

【傍聴者】 なし

議事

第11次水道事業経営審議会の審議を振り返って

事務局 恐れ入ります。定刻前ですが皆様おそろいになられましたので、ただ今から第11次水道事業経営審議会第11回の会議を開催いただきしたいと思います。本日は第11次経営審議会において最後の会議となります。のちほど本審議会からの答申書を市長にお渡しいただきます。なお、本日はあらかじめ、松田委員、木田委員、芝委員、田口委員から欠席のご連絡をいただいております。また、本日の傍聴希望者はいらっしゃいません。それではここで、本日、机上に用意させていただいております配付物の確認をお願いいたします。まず、本日の次第が1枚、2017年12月号の「水道公論」の記事の写しが1部、以上となっております、それでは、会議に先立ちまして北詰会長にご挨拶をいただきます。北詰会長よろしく願いいたします。

会長 (挨拶)

事務局 ありがとうございます。それでは引き続きまして、本審議会から市長への答申をお願いいたします。会長・副会長・市長は恐れ入りますが、前方中央にお進みください。

(会長・副会長から市長に「答申」を手渡し)

事務局 ありがとうございます。席にお戻りください。ただいまいただきました答申書の内容について、事務局から概要を説明させていただきます。

事務局 (答申書の概要説明)

事務局 それでは引き続きまして、市長からご挨拶させていただきます。

市長 (挨拶)

事務局 続きまして、本日の次第の4. 議事に入らせていただきます。ここからの議事進行は、会長に御預けさせていただきます。

会長 では、司会を進行いたします。今日の議事は一点「第11次水道事業経営審議会の審議を振り返って」ということで、本日は各委員から振り返ってのご感想や意見等を承りたいと思っております。時間の関係もございますので、ひとり1分～2分程度で振り返りのご感想などを承りたいと思います。

委員 みなさんこんにちは。私自身このような機会意見を述べさせていただいたことや、委員のみなさまと「フューチャー・デザイン」に関することについて一緒に討議して、何が吹田市の将来世代の目線から見たときの水道のあり方なのかということ議論できたことは、非常に大きい意味があったなと思っております。個人的事情もありまして、しばらく大阪を離れていましたので、参加できないこともありましたが、このような形で「フューチャー・デザイン」という言葉や考え方が柱の一つに入ったことは非常に大きな意味があったのではないかと思います。先ほど市長も言われました水道の事もさることながら、下水、その他インフラについてもそのような将来世代の視点からいかにデザインしていくかということがこれから大きなテーマになると思います。その先陣を切って、水道の分野でこのような議論をされた、また、明記されたということは非常に意義深いと思っておりますし、私自身も色々なところで「フューチャー・デザイン」に関わっておりますが、そのなかでも一つのきっかけになると思っております。そのような意味でもこれからも吹田の水道、インフラのありかたについて、また引き続き皆様と議論できる形になっていけばいいなと思っております。このような機会をいただきましたことに感謝しております。ありがとうございました。

会長 ありがとうございます。続きましてよろしく願いいたします。

委員 この審議会で「フューチャー・デザイン」や「経営管理手法」についての勉強会というように今までになかった新しい取組に参加させていただいたこと、ありがたく思っております。2大工事のような大きな事業が行われるなかで審議会委員として参加させていただいたことに大変喜びを感じております。以上です。

会長 はい、どうもありがとうございます。では、続きましてよろしく願いいたします。

委員 ただの一主婦が何のことかわからずここにやってきましたが、浄水所の見学や色々なことができ、わからないことがいっぱいでしたが、結局2年間勉強させていただいたという感じで審議会が終わってしまいました。あまり意見が出せなかったと思うのですが、ここに来たことはとても有意義だったと思います。水道の事について色々勉強することができましたし、周囲の人にもいろんなことが報告できましたので、少しは役に立てたのかなと思っております。2年間本当にありがとうございました。

会長 ありがとうございます。一つ一つの貴重な意見が大変参考になりましたし、また、近所の人に話をさせていただけるということが非常に大きな意義になったと思います。ありがとうございました。では、続きましてよろしく願いいたします。

委員 はい、私もここに参加させていただいてはじめて水道事業がこんなに大変なものだと思いました。いつもは主婦として蛇口をひねれば出てくる水を当たり前のように受け止めており、値上げする時に初めて水道はどのようになっているのだろうと思った時に、ちょうど審議会委員になりました。出席できないこともありましたが、本当にこの2年間で水道がたくさんいろんなことをなさっていることを知りました。私もまた地域でのいどばた会議に出席させていただいて、水道について職員の皆様がこのように考えているんですよと地域の皆様にお知らせしたいと思います。どうも勉強させていただきましてありがとうございました。

会長 ありがとうございます。いどばた会議もただ実施するというだけではなく、皆様とのつながりがあるのはじめて有効なものになると思いますので、今後ともよろしく願いいたします。では、続けてよろしく願いいたします。

委員 はい、吹田市の水道はとても安全でおいしい水だということをこの審議会でも勉強させていただきました。私も周りの人たちに伝えたくて、知り合いや友達、飲食店をしている友人などに吹田市の水の安全性について伝えてきました。そして、吹田市の職員の方々の日々の努力に感謝しております。本当にありがとうございました。

会長 やはり、安全であることが大事ですね。どうもありがとうございます。では引き続きよろしく願いいたします。

委員 みなさんお疲れ様でした。私自身水道事業のことを勉強するなかで、難しいなと思い、なかなか意見が言えなかったのですが、生活者としての立場で庶民的な意見は出せたかなと思っております。また、これからも生活者の立場としての意見が反映されるように願っていますし、先ほど言われていましたように、水道は蛇口をひねったら出てくる当たり前のものだと思っていたので、この審議会に参加することで本当に大切なものであると思い、また、大変な努力で維持しているのだなということ、水道があることで清潔な生活が守られているのだなということが本当に勉強になりましたので、また、何かの機会に周囲の皆様に伝えるようにしたいと思います。ありがとうございました。

会長 この生活者としての意見というのは非常に貴重なものでありました。どうもありがとうございました。では、続きましてよろしく願いいたします。

委員 水道料金の値上げについてですけど、2年前に19年ぶりに値上げがされて平均10%アップしたのですが、その理由というのは水道施設の更新、あるいは耐震化ということでした。そしてまた、水道料金の値上げをもう一度やらないといけないと思うのですが、前回の水道料金についてのアンケートでは、水道料金について不満がある人のうち、3割程度が水道部

の経営努力が足りないのではないかとアンケートで回答されていました。私は市民の立場からしたら「水道部が目一杯経営努力をしていただいたうえで、これだけお金が足りないから料金値上げをお願いします。」という形にしてほしいと思っています。その主な理由は、今までは病院や学校、店舗などの大量使用者が高い水道料金を払うことで、一般の市民の水道料金を抑えることができたのですが、その大量使用者の使用量が減少することで非常に経営が苦しくなっていると思います。次の値上げの時は個別事業供給者と契約してお金が入るようになり、固定費の負担金を出したり、さらに、各市の先進事例を参考にするなど対策をしていただいた上で、値上げを提案してほしいと思っております。以上です。

会 長 はい、具体的な対策案ありがとうございました。では、続いてお願いいたします。

委 員 はい、今期の委員会では何かとよく意見を言わせていただきました。ありがとうございました。その中で、二つだけで懸念していることがあります。一つは、これまでは水道の問題として、安心安全な水の供給、それと、価格を安くする点を重点的に議論したのですが、現在では強靱化の問題がかなりはいつてきて、50年来の施設の更新や強靱化に関して、色々な施設にかなりこれから費用が掛かるという点について、平均改定率17.7%の値上げの際に議会に承認いただけなかったことから、割りと早い期間で積み残しの7.7%の値上げを申請しないといけない、また議論しないといけないということが懸念されます。その懸念は今言いましたように、施設の更新に大きなお金がかかるということです。もう一点は地下水の問題です。病院、大学や企業など、今まで大量使用者が生活者の負担を分担していただいていたのが、それが難しくなっているという懸念です。さらに、地下水と淀川水系の水で吹田市の水資源は安全であるという認識があると思うのですが、地下水というのはいつどこでなくなるかわからないということです。その一例として関大前にあった千里山浄水所は廃止しました。ということで、いつまでもあるかどうかかわからない。だから地下水を無料で好き勝手に大量使用者に使用させてもいいのかというような懸念が残る。その二つの積み残しは第12次に引き継いでもらいたいと思いますので、そのようなテーマに危惧を抱いたという点だけ申し上げます。

会 長 次期審議会に向けてのお話かと思えます。水道部の皆さんよろしく願いいたします。では続いてお願いいたします。

委 員 こんにちは。私もこの審議会の委員に参加させていただいて一番初めにお話しいただいたときに、水道事業は水道料金によって全てが賄われているということを知って「すごいな、税金じゃないのか」と思いました。また、最近すごく水道工事を頻繁にお見受けします。「大丈夫かな」と思い、ここの審議会に参加させていただいて、ありとあらゆる所で工事していることに「水道部の職員さんは本当にすごいな」と感じました。もうひとつは、委員の皆様のご意見が本当に効果的なお答えを出していらっしゃることにまた感心致しました。私も

この2年間、あまり意見を出せなかったですが、みなさんのお話を聞いて勉強させていただき納得することができました。本当にこのような勉強の機会を与えてくださってありがとうございます。私も友人に水道の審議会でのことを話したら、みんなびっくりしていました。また、このような機会を与えていただいたときは、みなさまとお話をしていきたいと思いません。本当にありがとうございました。

会 長 はい、ありがとうございました。では、副会長、よろしく願いいたします。

副 会 長 皆さん本当に2年間ご苦労様でした。前半はゆったりと水道について色々なことを学びました。学識委員のお2人には、「フューチャー・デザイン」や「経営形態」について貴重なお話をさせていただき本当にありがとうございました。そして、昨年9月からは市長の諮問があり、それから短期間で議論をするような形になりました。審議会をこれまで何年もやらせていただいてきましたが、他の市町村の審議会と比べて、それぞれの委員が活発に意見を述べられていると感じています。この審議会は、先ほど女性の委員の方々がおっしゃったように、主婦の観点からみた感じ方を近くの地域に帰って、情報発信するというような形で非常に積極的に関わってこられました。また、今回は経営に関する部分について、多面的にサジェスションをしている委員もいらっしゃっていました。副会長として至らない点多々あったと思いますが、ありがとうございました。

会 長 どうもありがとうございました。各委員から感想・意見を承りました。私も何か言わないといけないかもしれないですね。最初の挨拶の時にある程度お話ししましたので、一言だけ申し上げたいと思います。この審議会の会長として色々やらせていただきました。前回やさらにもっと前から審議会で引き継いでいることとして、この水道部や水道事業と市民のみなさまの距離がどんどん縮まっていくようにできないかというのが背景にあります。あちらこちらで街づくりに関する取組をさせていただいているのですが、例えば福祉や文化・教育政策にはみなさまご関心をお持ちになりますが、水道事業について「市民のみんなで考えてみようか」と申し上げると、「知らないなあ」と言われるわけですよ。やはり、色々な分野のなかで水道事業に関して市民のみなさまの関心が必ずしも高くないというのが問題だと思っておりました。その中で審議会の会長をして委員の皆様のご発言を聞いている中で、市民のみなさまと水道事業の距離がより一層近くなっていき、そして市民のみなさま一人一人がこの水道事業に責任を持って考えるという風に少しずつでもいいから、そうなることがポイントかなとやらせていただきました。もちろん水道部の職員が市民の皆さんのそれぞれの場所に飛び込んで行ってくれということを何度も申し上げました。それが「いどばた会議」のようなものの形として反映されてきたと思いますし、今日の委員の皆様方のお話にもありましたように、ここで審議をしていただいた内容をそれぞれの地域であるとか近所の皆様、あるいは生活者の皆様に持ち帰り頂いて話をしていただく。これも距離を縮めていく、ある

いは市民一人ひとりに責任のある考えを持っていただくという大きな取組だったかなと思います。ですから、審議会はもちろんここで審議することが第一の目的ではございますけれども、吹田市における水道事業を良くしていくという大きな目的から考えますと、非常に有効な会議であった、あるいは効果的な会議であったと考えています。最後、答申という形で今回は終わりますけれども、水道事業をどのように考え、今後の吹田市の将来をどうしていくかという大きな目標のなかで、今回の取組を考えていただければ、会長として幸いです。一応、本審議会を終えるにあたりまして、会長の私から申し上げ、まとめの言葉とさせていただきます。どうもみなさん、ありがとうございました。本日の議事は終わりにさせていただきます。最後、管理者よりご挨拶賜りたいと思います。よろしくお願いいたします。

管 理 者 （挨拶）

会 長 では、閉会といたします。ありがとうございました。